

# 小中一貫教育だより

川島町教育委員会教育総務課  
学校総合推進室 坪内・市川  
NO. 5 令和6年1月発行

明けましておめでとうございます。

今年も、小中一貫教育の推進に、ご理解ご協力よろしくお願ひします。

さて、今回は、昨年11月に実施した小中一貫教育校の視察について、ご紹介します。

## 成田市立下総みどり学園の現地視察を実施しました

令和5年11月27日(月)、小中一貫教育校での実際の生活やカリキュラム等について、教職員の理解をより深めることを目的に、先進校である千葉県成田市立下総みどり学園に各校の教諭等と一緒に行って来ました。

下総みどり学園(義務教育学校)は、小中一貫教育校として参考とすべき多くの取り組みを行っている学校です。昨年度、教育委員、校長会で一度視察をしていますが、今年5月に実施したQ&Aで、教職員から小中一貫教育校への視察要望があったことを受け、今回の実施となりました。



参加者 ○小中一貫教育推進協議会  
小学校 3名 中学校 3名  
○川島町立小・中学校教員  
小学校 1名 中学校 4名  
○事務局  
教育総務課職員 4名  
計 15名

(写真: みどり学園の玄関前にて)

### 【現地研修内容】

#### (1) 縦割り清掃活動見学

- ・1年生から9年生までの縦割り清掃活動。
- ・それぞれ、テキパキと行動し、違和感はない。

#### (2) 乗り入れ授業(音楽・美術)見学

- ・音楽と美術は通年、他教科は年度で変わる。
- ・音楽と美術以外には、今年度は社会科を乗り入れている。



(写真: 縦割り清掃活動)

#### (3) みどり学園の概要説明(大徳校長から)

- ① 昨年度、初めて義務教育学校の9か年課程で学んだ生徒を卒業させた。
- ② 今年度、初めて全校9か年による体育祭を実施した。
- ③ 小中(縦)の人間関係の中では、いじめは発生していない。
- ④ 教育効果が最も高い取り組みは、縦割りの行事と乗り入れ授業である。
- ⑥ 定期テストは5年生から始めるが、初めは回数や教科を絞って実施している。
- ⑦ 5年生から50分授業となる。日課表は前期課程と後期課程で2種類ある。
- ⑧ 中1ギャップは見られないが、5年生は、教科担任制や50分授業の開始、業間が無くなるなど変化があることから、小5ギャップの傾向がある。



(写真: 大徳校長)

- ⑨ 生徒会や各種行事、生徒指導主任は後期担当（中学校教員）が担当している。
- ⑩ 5年生から、担任の入れ替わりや専科教員が入るなど、教科担任制を取り入れる。
- ⑪ 前期課程の子どもにとって中・後期課程の子どもは目指す姿であり、優しくサポートしてくれる等、メリットは大きいですが、特に後期課程の子どもにとって、目指すべき姿や目標を見だしにくいことが課題である。
- ⑫ 義務教育学校の一番の成果は、縦の長い人間関係で生活を共にすることである。縦の人間関係が自然とできているこの学校だからこそ、昔のガキ大将が小さな子を引き連れて遊ぶ姿のイメージと重なる（実際のガキ大将はいないが）。
- ⑬ 卒業式は、9年目（中3）のみである。修了証は学年ごとに出しているが、区切りをつけるために、リーダー引継ぎ式を実施している。（4年・7年・9年）

(4) **1～6年生のバス通学者一斉下校見学**

- 近隣以外の児童は、すべてバス通学である。  
集合→点呼→移動という流れで、5分程度でバスに  
乗車していた。バスまで100m程度歩くが、慣れた  
ものでスムーズである。

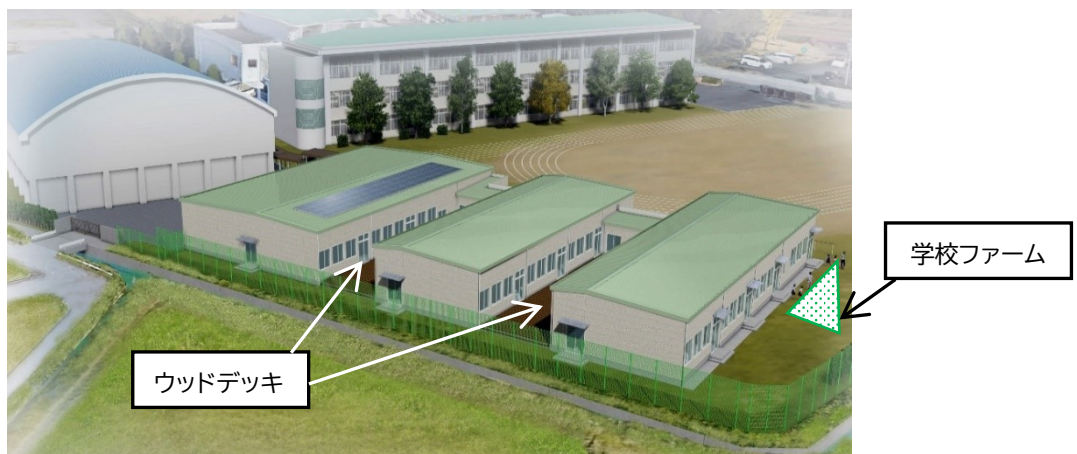


(写真：下校の様子、バス乗車前)

■**現地研修から学んだ特筆すべきこと**

- 大徳校長の言うとおりに、小中一貫全体を俯瞰して、最も大きな成果は、「9年生までの異年齢の子どもと一緒に生活することそのもの」であり、それは、現代生活の中で失われつつある、生活の中にある自然な異年齢社会の学びを可能にしている」ことである。乗り入れ授業や交流行事等の成果に目を奪われがちな小中一貫教育校だが、こうした根底にある成果を忘れてはならない。そのことを承知の上で、様々な取り組みを具体化していけばよいのだと思う。乗り越えるべき壁も多いだろうが、軌道に乗った先進校では、私たちと同じく、落ち着いた日常が流れていたことも付け加えておきたい。この研修を通して、実のある研修とは、自身が見て・聞いて・確かめてこそ、自分自身の力になるものだと改めて感じた。

★**小中一貫教育校の低学年棟(小1～4まで)の鳥観図です。(予定)**



〈説明〉校舎は3棟で全て平屋建てです。校舎と校舎の間2か所にウッドデッキを設置し、一番南側の校舎とフェンスの間に、学校ファームを配置する予定です。

担 当：教育総務課 学校統合推進室 坪内・市川  
電 話：049-299-1730 Email：gakkou@town.kawajima.saitama.jp